



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年1月31日

上場会社名 ティアック株式会社 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 6803 URL http://www.teac.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 英 裕治  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 吉村邦彦 (TEL) (042) 356-9116  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

|             | 売上高    |       | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 四半期純利益 |   |
|-------------|--------|-------|------|---|------|---|--------|---|
|             | 百万円    | %     | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円    | % |
| 23年3月期第3四半期 | 28,217 | △2.9  | 382  | — | △195 | — | △675   | — |
| 22年3月期第3四半期 | 29,066 | △28.6 | △594 | — | △974 | — | △1,217 | — |

|             | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
|             | 円 銭             | 円 銭                        |
| 23年3月期第3四半期 | △2.34           | —                          |
| 22年3月期第3四半期 | △4.22           | —                          |

(2) 連結財政状態

|             | 総資産    | 純資産   | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
|             | 百万円    | 百万円   | %      | 円 銭      |
| 23年3月期第3四半期 | 22,506 | 4,251 | 18.9   | 14.74    |
| 22年3月期      | 26,933 | 5,805 | 21.6   | 20.13    |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,251百万円 22年3月期 5,805百万円

2. 配当の状況

|            | 年間配当金      |            |            |      |      |
|------------|------------|------------|------------|------|------|
|            | 第1<br>四半期末 | 第2<br>四半期末 | 第3<br>四半期末 | 期 末  | 合 計  |
|            | 円 銭        | 円 銭        | 円 銭        | 円 銭  | 円 銭  |
| 22年3月期     | —          | —          | —          | 0.00 | 0.00 |
| 23年3月期     | —          | —          | —          | —    | —    |
| 23年3月期(予想) | —          | —          | —          | —    | —    |

(注1) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

(注2) 平成23年3月期の期末配当金は、業績等を考慮して決定する予定です。

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

|     | 売上高    |      | 営業利益  |       | 経常利益 |   | 当期純利益 |       | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----|--------|------|-------|-------|------|---|-------|-------|----------------|
|     | 百万円    | %    | 百万円   | %     | 百万円  | % | 百万円   | %     | 円 銭            |
| 通 期 | 39,000 | △4.3 | 1,400 | 152.3 | 800  | — | 250   | 285.6 | 0.87           |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

|          |              |        |              |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 23年3月期3Q | 289,317,134株 | 22年3月期 | 289,317,134株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

|          |          |        |          |
|----------|----------|--------|----------|
| 23年3月期3Q | 960,032株 | 22年3月期 | 945,876株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

|          |              |          |              |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 23年3月期3Q | 288,365,904株 | 22年3月期3Q | 288,383,492株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....     | 2  |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報.....        | 2  |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報.....        | 3  |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報.....        | 4  |
| 2. その他の情報.....                  | 5  |
| (1) 重要な子会社の異動の概要.....           | 5  |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....    | 5  |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要..... | 5  |
| 3. 四半期連結財務諸表.....               | 6  |
| (1) 四半期連結貸借対照表.....             | 6  |
| (2) 四半期連結損益計算書.....             | 7  |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....      | 8  |
| (4) 継続企業の前提に関する注記.....          | 9  |
| (5) セグメント情報.....                | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... | 14 |

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益が改善し、設備投資が持ち直しつつありますが、雇用情勢や個人消費等は依然として厳しい状況にあります。また、米国経済においては、緩やかな成長が続いていますが、回復力は弱く低水準で推移しており、欧州では、ドイツなどを中心に改善を続けているものの、財政危機に直面する一部の国で景気が停滞しております。為替につきましても、円高が継続しており、当社を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

## ① 売上高及び営業利益

当第3四半期連結累計期間は、世界景気の低迷と円高の進行により収益減少の影響を受け、前年同期と比較し、売上高の減少を余儀なくされましたが、営業利益は大きく改善しました。営業利益に関してはインフォメーションシステム事業の改善が大きく、この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,217百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は382百万円（前年同期営業損失594百万円）と減収増益となりました。

前年同期と比較した事業別の状況は以下のとおりであります。

参考：在外連結子会社の連結の際の円貨への換算レート

|     | 前第3四半期<br>連結累計期間 |          | 当第3四半期<br>連結累計期間 |          |
|-----|------------------|----------|------------------|----------|
|     | 期中平均相場           | 決算日の直物相場 | 期中平均相場           | 決算日の直物相場 |
| 米ドル | 93.61円           | 92.10円   | 86.85円           | 81.49円   |
| ユーロ | 133.03円          | 132.00円  | 113.28円          | 107.90円  |

## 1) コンシューマオーディオ事業

コンシューマオーディオ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は3,846百万円となり、営業損失は394百万円となりました。高級AV機器分野（ESOTERICブランド）は、海外市場では依然として高級品の低迷が続きましたが、日本市場においてはPCオーディオとの親和性を持たせたセパレートDAC及び一体型ミュージックセンターが好調を維持し、さらに、一体型SACDプレーヤーのフラグシップ機のフルモデルチェンジが好評価を受けたことと、輸入品が堅調に推移した結果、減収ながら営業損失は縮小しました。一般AV機器分野（TEACブランド）は、特に最大市場である米国でiPod関連商品の販売が伸びなかったものの、欧州では不採算カテゴリーの撤退により、収益改善を進めています。コンシューマオーディオ事業全体では売上高が減少し、営業損失が拡大しました。

## 2) プロフェッショナルオーディオ事業

プロフェッショナルオーディオ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は5,635百万円となり、営業利益は246百万円となりました。音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、前連結会計年度に投入した新製品、及び米国で個人向け音楽制作用録音機器の販売が引き続き好調であること、設備市場向け業務用音響機器の販売も前年同期と比較して需要が回復したこと、また、放送局向け新製品のさらなる投入・拡販に加え、大型受注の出荷が12月より開始されたことにより、第3四半期連結累計期間では、前年同期と比較して増収となりました。しかしながら利益面では、円高の影響に加え、開発・販売体制拡充のための投資増により前年同期と比較して減益となりました。

## 3) インフォメーションシステム事業

インフォメーションシステム事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は3,313百万円となり、営業損失は180百万円となりました。当第3四半期連結累計期間では航空機搭載用記録再生機器の販売が国内海外共に好調でした。また、医用画像記録機器、トランスデューサーも期初からの好調を維持しました。通話録音機器、ディスクパブリッシング事業及びソリューション事業は引き続き低調でしたが、インフォメーションシステム事業全体では前年同期と比較して、売上高は増加し、営業損失は縮小しました。

## 4) ストレージデバイス事業

ストレージデバイス事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は13,697百万円、営業利益は526百万円となりました。主力であるDVD-ROMドライブは、従来のスリムモデル(12.7mm高)に加え、スーパースリムモデル(9.5mm高)の販売が堅調に推移しました。DVD-R/RW/RAMドライブは、第1四半期には市場需要増があったものの、第2四半期以降には、市場価格の急落の影響によって減収となりました。また、販売の終息を迎えつつあるフロッピーディスクドライブが前年同期に対して減収となったことで、ストレージデバイス事業全体では、前年同期と比較して、減収増益となりました。

## ※新事業セグメントによる前年同期比較

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を、新事業セグメント区分の方法を用いて区分し、当第3四半期連結累計期間と比較すると次のようになります。

| 事業区分<br>項目        | コンシューマ<br>オーディオ<br>事業<br>(百万円) | プロフェッ<br>ショナルオー<br>ディオ事業<br>(百万円) | インフォメ<br>ーションシ<br>ステム事業<br>(百万円) | ストレージ<br>デバイス<br>事業<br>(百万円) | その他<br>(百万円) | 計<br>(百万円) |
|-------------------|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------|--------------|------------|
| 当第3四半期連結累計期間      |                                |                                   |                                  |                              |              |            |
| 売上高               | 3,846                          | 5,635                             | 3,313                            | 13,697                       | 1,724        | 28,217     |
| 営業利益又は<br>営業損失(△) | △394                           | 246                               | △180                             | 526                          | 183          | 382        |
| 前第3四半期連結累計期間      |                                |                                   |                                  |                              |              |            |
| 売上高               | 5,452                          | 5,426                             | 2,996                            | 14,258                       | 933          | 29,066     |
| 営業利益又は<br>営業損失(△) | △292                           | 265                               | △786                             | 248                          | △30          | △594       |
| 増減額               |                                |                                   |                                  |                              |              |            |
| 売上高               | △1,605                         | 209                               | 317                              | △561                         | 790          | △848       |
| 営業利益又は<br>営業損失(△) | △101                           | △19                               | 605                              | 278                          | 213          | 977        |

## ②経常利益

当第3四半期連結累計期間の経常損失は195百万円(前年同期経常損失974百万円)となりました。前年同期と比較し、為替差損が162百万円増加したものの、主として営業利益の増加により、損失幅は大幅に縮小しました。

## ③四半期純利益

当第3四半期連結累計期間の四半期純損失は675百万円(前年同期四半期純損失1,217百万円)となりました。特別損失としてマレーシア生産子会社の事業閉鎖に伴う特別退職金265百万円を計上しました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①財政状態の分析

## (資産)

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、22,506百万円と前連結会計年度末と比較して4,426百万円減少しました。主な増減は、現金及び預金の減少2,310百万円、受取手形及び売掛金の減少2,654百万円、有形固定資産の減少285百万円、第4四半期以降の販売に向けてのたな卸資産の増加1,147百万円であります。

## (負債)

負債は、18,255百万円と前連結会計年度末と比較して2,872百万円減少しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少1,966百万円、短期・長期借入金の減少683百万円であります。

## (純資産)

純資産は、主に為替の円高による為替換算調整勘定の減少934百万円、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少675百万円により1,554百万円減少し、4,251百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は(以下「資金」という)、前連結会計年度末と比較して3,035百万円減少し、3,324百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、915百万円のマイナス(前年同期2,355百万円のマイナス)となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額2,226百万円、マイナス要因としてはたな卸資産の増加額1,705百万円、仕入債務の減少額1,736百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、1,078百万円のマイナス(前年同期431百万円のマイナス)となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出724百万円、有形固定資産の取得による支出381百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、724百万円のマイナス(前年同期735百万円のマイナス)となりました。主な内訳は、プラス要因として短期借入れによる収入1,732百万円、マイナス要因として短期借入金の返済による支出2,024百万円、長期借入金返済による支出384百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては現在見直し中であり、平成22年11月4日に公表した予想を変更していません。見直しが完了次第速やかに開示いたします。

## 注：

1. 為替レートの前提：1米ドル=80.00円、1ユーロ=110.00円

(外貨建て債権債務は第3四半期末日レートで評価された金額を前提としており、第3四半期末日レートからの為替変動により評価差損益が発生します。なお、欧州通貨については為替予約により、変動リスクの軽減を行っています。)

2. 当社の為替変動による業績への影響額は、概ね以下のように見積もられます。

- ・米ドルの場合、1円の為替変動に対して、営業利益では影響は僅少ですが営業外損益にて変動時に約1千万円の為替差損益が発生します(円高の場合は為替差損が発生)。
- ・ユーロの場合、1円の為替変動に対し、営業利益で半期約1千万円変動します(円高の場合は営業利益が減少)。営業外損益については、ユーロの為替予約により変動リスクの低減を行っており、予約の状況により影響額は変化します。

※ この影響額の情報はあくまで現時点で見積った概算であり、外貨建て取引の増減及び為替予約の状況により変化します。

## 2. その他の情報

- (1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## 簡便な会計処理

## 1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

## 2 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

## 3 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## ①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益は7百万円減少し、経常損失は7百万円、税金等調整前四半期純損失は40百万円それぞれ増加しております。

## ②四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

3 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

|               | 当第3四半期<br>連結会計期間末<br>(平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>(平成22年3月31日) |
|---------------|------------------------------------|--|
| <b>資産の部</b>   |                                    |  |
| 流動資産          |                                    |  |
| 現金及び預金        | 4,048                              | 6,359                                    |
| 受取手形及び売掛金     | 5,052                              | 7,706                                    |
| 商品及び製品        | 5,852                              | 4,428                                    |
| 原材料及び貯蔵品      | 1,683                              | 1,958                                    |
| その他           | 1,430                              | 1,702                                    |
| 貸倒引当金         | △117                               | △142                                     |
| 流動資産合計        | 17,949                             | 22,013                                   |
| 固定資産          |                                    |  |
| 有形固定資産        | 3,419                              | 3,705                                    |
| 無形固定資産        | 342                                | 404                                      |
| 投資その他の資産      | 1,020                              | 1,035                                    |
| 貸倒引当金         | △225                               | △225                                     |
| 固定資産合計        | 4,557                              | 4,920                                    |
| 資産合計          | 22,506                             | 26,933                                   |
| <b>負債の部</b>   |                                    |  |
| 流動負債          |                                    |  |
| 支払手形及び買掛金     | 2,733                              | 4,699                                    |
| 短期借入金         | 5,078                              | 5,391                                    |
| 1年内償還予定の社債    | 80                                 | 80                                       |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 15                                 | 386                                      |
| 賞与引当金         | 165                                | 142                                      |
| 製品保証引当金       | 297                                | 357                                      |
| 返品調整引当金       | 90                                 | 101                                      |
| その他           | 2,023                              | 1,953                                    |
| 流動負債合計        | 10,485                             | 13,112                                   |
| 固定負債          |                                    |  |
| 社債            | —                                  | 40                                       |
| 長期借入金         | 35                                 | 35                                       |
| 退職給付引当金       | 7,518                              | 7,816                                    |
| 資産除去債務        | 29                                 | —  |
| その他           | 186                                | 124                                      |
| 固定負債合計        | 7,770                              | 8,015                                    |
| 負債合計          | 18,255                             | 21,128                                   |
| <b>純資産の部</b>  |                                    |  |
| 株主資本          |                                    |  |
| 資本金           | 6,781                              | 6,781                                    |
| 資本剰余金         | 1,008                              | 1,008                                    |
| 利益剰余金         | 1,315                              | 1,991                                    |
| 自己株式          | △106                               | △105                                     |
| 株主資本合計        | 8,997                              | 9,674                                    |
| 評価・換算差額等      |                                    |  |
| その他有価証券評価差額金  | 120                                | 63                                       |
| 為替換算調整勘定      | △4,866                             | △3,932                                   |
| 評価・換算差額等合計    | △4,746                             | △3,868                                   |
| 純資産合計         | 4,251                              | 5,805                                    |
| 負債純資産合計       | 22,506                             | 26,933                                   |



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

|                     | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成21年4月1日<br>至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高                 | 29,066   | 28,217   |
| 売上原価                | 20,342   | 19,232   |
| 売上総利益               | 8,724  | 8,985  |
| 販売費及び一般管理費          | 9,319  | 8,603  |
| 営業利益又は営業損失(△)       | △594   | 382  |
| 営業外収益               |  |  |
| 受取利息                | 15   | 2  |
| その他                 | 88   | 70   |
| 営業外収益合計             | 103  | 72   |
| 営業外費用               |  |  |
| 支払利息                | 186  | 173  |
| 売上割引                | 161  | 158  |
| 為替差損                | 94   | 256  |
| その他                 | 41   | 62   |
| 営業外費用合計             | 483  | 650  |
| 経常損失(△)             | △974   | △195   |
| 特別利益                |  |  |
| 固定資産売却益             | 1  | 11   |
| 貸倒引当金戻入額            | —  | 26   |
| その他                 | —  | 1  |
| 特別利益合計              | 1  | 39   |
| 特別損失                |  |  |
| 特別退職金               | 165  | 308  |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | —  | 33   |
| その他                 | 21   | 140  |
| 特別損失合計              | 187  | 481  |
| 税金等調整前四半期純損失(△)     | △1,160   | △637   |
| 法人税、住民税及び事業税        | 55   | 60   |
| 法人税等調整額             | 1  | △21  |
| 法人税等合計              | 56   | 38   |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△)  | —  | △675   |
| 四半期純損失(△)           | △1,217   | △675   |

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

|                         | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成21年4月1日<br>至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 税金等調整前四半期純利益            | △1,160   | △637   |
| 減価償却費                   | 557  | 566  |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少)        | 23   | △20  |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少)      | △230   | △270   |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少)        | △167   | 26   |
| 製品保証引当金の増減額 (△は減少)      | △13  | △27  |
| 返品調整引当金の増減額 (△は減少)      | △25  | △2   |
| 受取利息及び受取配当金             | △19  | △8   |
| 支払利息                    | 186  | 173  |
| 有形固定資産除売却損益 (△は益)       | △1   | 0  |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額     | —  | 33   |
| 投資有価証券評価損益 (△は益)        | —  | 13   |
| 売上債権の増減額 (△は増加)         | △2,026   | 2,226  |
| たな卸資産の増減額 (△は増加)        | △1,037   | △1,705   |
| 仕入債務の増減額 (△は減少)         | 1,665  | △1,736   |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加)     | 33   | 227  |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少)     | 107  | 276  |
| その他の固定資産の増減額 (△は増加)     | △75  | △26  |
| その他の固定負債の増減額 (△は減少)     | △4   | △8   |
| その他                     | 12   | 240  |
| 小計                      | △2,175   | △660   |
| 利息及び配当金の受取額             | 19   | 8  |
| 利息の支払額                  | △174   | △171   |
| 法人税等の支払額                | △25  | △92  |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | △2,355   | △915   |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 有形固定資産の取得による支出          | △505   | △381   |
| 有形固定資産の売却による収入          | 32   | 38   |
| 貸付金の回収による収入             | 0  | —  |
| 定期預金の預入による支出            | —  | △724   |
| 定期預金の払戻による収入            | 50   | —  |
| 関係会社株式の取得による支出          | △9   | —  |
| 従業員に対する貸付けによる支出         | —  | △6   |
| 従業員に対する貸付金の回収による収入      | —  | 6  |
| その他                     | —  | △10  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △431   | △1,078   |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 短期借入れによる収入              | 463  | 1,732  |
| 短期借入金の返済による支出           | △753   | △2,024   |
| 長期借入れによる収入              | 0  | 14   |
| 長期借入金の返済による支出           | △385   | △384   |
| 社債の償還による支出              | △40  | △40  |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出    | △19  | △22  |
| 自己株式の取得による支出            | △0   | △0   |
| その他                     | 0  | —  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | △735   | △724   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | △106   | △316   |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)    | △3,628   | △3,035   |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 7,130  | 6,359  |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高        | 3,502  | 3,324  |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

|                          | 周辺機器事業<br>(百万円) | コンシューマ機器事業<br>(百万円) | プロフェッショナル機器事業<br>(百万円) | 情報機器事業<br>(百万円) | その他<br>(百万円) | 計<br>(百万円) | 消去又は<br>全社<br>(百万円) | 連結<br>(百万円) |
|--------------------------|-----------------|---------------------|------------------------|-----------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高                      |                 |                     |                        |                 |              |            |                     |             |
| (1)外部顧客に対する<br>売上高       | 15,871          | 5,435               | 5,340                  | 1,951           | 467          | 29,066     | —                   | 29,066      |
| (2)セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | —               | —                   | —                      | —               | —            | —          | —                   | —           |
| 計                        | 15,871          | 5,435               | 5,340                  | 1,951           | 467          | 29,066     | —                   | 29,066      |
| 営業利益又は営業損失<br>(△)        | 319             | △199                | 661                    | △221            | 23           | 582        | (1,177)             | △594        |

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

| 区分            | 主要製品  |
|---------------|---|
| 周辺機器事業        | CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RW・DVD-ROMコンビ<br>ネーションドライブ、DVD-R/RW/RAMドライブ、フロッピーデ<br>ィスクドライブ、カードリーダー、ディスクパブリッシング<br>機器 |
| コンシューマ機器事業    | iPod接続対応オーディオ機器、SACDプレーヤー、CDレコーダ<br>ー/プレーヤー、DVDプレーヤー  |
| プロフェッショナル機器事業 | マルチトラックレコーダー、PCインターフェース/コントロー<br>ラー、ミキサー、ギターアンプ、メモリーレコーダー/プレー<br>ヤー   |
| 情報機器事業        | 航空機搭載用記録再生機器、トランスデューサー、データレ<br>コーダー、医用画像記録機器、通話録音機器   |
| その他           | 業務パッケージソフトウェア、介護支援個別ケアシステム  |

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

|                          | 日本<br>(百万円) | 米大陸<br>(百万円) | 欧州<br>(百万円) | アジア他<br>(百万円) | 計<br>(百万円) | 消去又は<br>全社<br>(百万円) | 連結<br>(百万円) |
|--------------------------|-------------|--------------|-------------|---------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高                      |             |              |             |               |            |                     |             |
| (1)外部顧客に対する<br>売上高       | 12,735      | 8,021        | 4,353       | 3,956         | 29,066     | —                   | 29,066      |
| (2)セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | 10,006      | 29           | 23          | 8,326         | 18,385     | (18,385)            | —           |
| 計                        | 22,741      | 8,050        | 4,376       | 12,282        | 47,452     | (18,385)            | 29,066      |
| 営業利益又は営業損失<br>(△)        | 506         | 115          | 42          | △80           | 582        | (1,177)             | △594        |

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 米大陸………米国、カナダ、メキシコ

(2) 欧州………ドイツ、イギリス

(3) アジア他……マレーシア、インドネシア、台湾、中華人民共和国

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

|                          | 米大陸   | 欧州    | アジア   | その他 | 計      |
|--------------------------|-------|-------|-------|-----|--------|
| I 海外売上高(百万円)             | 8,358 | 5,898 | 6,713 | 223 | 21,194 |
| II 連結売上高(百万円)            | —     | —     | —     | —   | 29,066 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 28.8  | 20.3  | 23.1  | 0.8 | 72.9   |

(注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 米大陸……米国、カナダ、メキシコ

(2) 欧州……ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、ベルギー、スペイン及びロシア他欧州諸国

(3) アジア……台湾、韓国、中華人民共和国、シンガポール、インドネシア、タイ及びその他のアジア諸国

(4) その他……オーストラリア、ニュージーランド及びその他の地域

3 海外売上高は、親会社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計額(ただし、連結会社間の内部売上高を除く)であります。

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社にマーケット別の事業部を置き、各事業部は取り扱うマーケットについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部を基礎としたマーケット別セグメントから構成されており、「コンシューマオーディオ事業」、「プロフェッショナルオーディオ事業」、「インフォメーションシステム事業」及び「ストレージデバイス事業」の4つを報告セグメントとしております。

- －「コンシューマオーディオ事業」：一般AV機器分野（TEACブランド）と高級AV機器分野（ESOTERICブランド）の製品の製造販売
- －「プロフェッショナルオーディオ事業」：音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）の製造販売
- －「インフォメーションシステム事業」：航空機搭載用記録再生機器、医用画像記録機器、計測機器、通話録音機器及びディスクパブリッシング機器の製造販売並びに介護支援個別ケアシステム等ソリューションビジネス
- －「ストレージデバイス事業」：光ディスクドライブ事業を始めとするコンピュータ周辺機器製品の製造販売

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

|                   | 報告セグメント       |                  |                 |             |        | その他<br>(注) | 合計     |
|-------------------|---------------|------------------|-----------------|-------------|--------|------------|--------|
|                   | コンシューマオーディオ事業 | プロフェッショナルオーディオ事業 | インフォメーションシステム事業 | ストレージデバイス事業 | 計      |            |        |
| 売上高               |               |                  |                 |             |        |            |        |
| 外部顧客への売上高         | 3,846         | 5,635            | 3,313           | 13,697      | 26,493 | 1,724      | 28,217 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | —             | —                | —               | —           | —      | —          | —      |
| 計                 | 3,846         | 5,635            | 3,313           | 13,697      | 26,493 | 1,724      | 28,217 |
| セグメント利益又は損失(△)    | △394          | 246              | △180            | 526         | 198    | 183        | 382    |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EMS事業を含んでおります。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

| 利 益             | 金 額 |
|-----------------|-----|
| 報告セグメント計        | 198 |
| 「その他」の区分の利益     | 183 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 382 |

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額の重要な変動はありません。

（重要な負ののれん発生益）

当第3四半期連結累計期間において、重要な負ののれん発生益の計上はありません。

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。